



設立された「はしかみ観光ネットワーク」のメンバーら＝13日、階上町

はしかみ観光ネットワーク発足

地域の魅力発信力強化

階上町などは13日、観光の充実や郷土文化の繁栄などを目的とする新たな観光協会「はしかみ観光ネットワーク」を設立した。産業と観光の連携強化を図り、

町内外で地域の魅力をより認識できるように発信力の強化を目指す。

同町では時代の変化による多様な立場や考え方を尊重し、特に若者や女性の声を大事にしようとして、3年前に新観光協会の設立構想が浮上。これまで設立準備を進めるとともに、1964年設立の旧町観光協会は今年4月、発展的に解散し

た。13日現在、会員は旧協会時代の約2倍に当たる52団体・個人となっており、30～70代の幅広い世代の町民が活動している。

同日、同町のハートフルプラザはしかみで設立総会が開かれ、会長に同ネット発起人の佐京忠史町商工会会長を選出したほか、本年度事業計画として、会員制交流サイト（SNS）アカウンツの開設などを決めた。

設立に当たり、佐京会長は「時代に合わせて協会も変化を迫られてきた。まずは地域の人の町の魅力を伝

えられるよう、会員で楽しみながらアイデアを出していきたい」と語った。
(佐々木祐紀)

共同持ち株会社 来年秋にも設立

AIRDDOと
ソラシドエア

北海道地盤の航空会社AIRDDO（エア・ドゥ、札幌市）と九州のソラシドエア（宮崎市）が、2022年秋にも共同持ち株会社を設立する検討に入ったことが13日、分かった。実質的な経営統合となり、月内に発表する。新型コロナウイルス感染拡大で旅客低迷が長引いており、機体整備や資材調達などで協力して効率化する狙い。コロナ禍をきっかけとした国内航空会